

医薬品安全使用ニュース

リスパダール内用液の
後発品採用切り替えに伴う注意点について

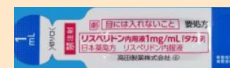
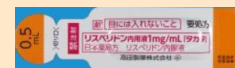
○先発品：リスパダール内用液1mg/mL (0.5mL/包、1mL/包)



採用切り替え ↓

○後発品：リスペリドン内用液1mg/mL「タカタ」 (0.5mL/包、1mL/包)

※院外は一般名処方



概要

リスパダール内用液1mg/mL(0.5mL/包、1mL/包)は、院内処方について先発品の在庫消尽次第、後発品(リスペリドン内用液1mg/mL「タカタ」)への採用切り替えを予定しております

※長期収載品の選定療養対象薬剤のため、院外処方について
2024年10月1日より先に後発品に切り替え、一般名処方としております

注意すべきポイント

後発品への切り替え後は、処方単位が
「包」→「mL」に変更となります
1回量の間違いにご注意ください

変更前 (先発品:リスパダール内用液)

包

変更後 (後発品:リスペリドン内用液)

ml

	1回量	1日量		1回量	1日量
【腎】リスパダール内用液【0.5mL/包】	1	2 包	【腎】リスパダール内用液【0.5mg/0.5mL/包】「効効」	0.5	1 ml
1日2回(朝、夕)食後	10-15から1日分		1日2回(朝、夕)食後	10-15から1日分	
【腎】リスパダール内用液1mg/mL(1mL/包)	1	2 包	【腎】リスパダール内用液【1mg/1mL/包】「効効」	1	2 ml
1日2回(朝、夕)食後	10-15から1日分		1日2回(朝、夕)食後	10-15から1日分	

0.5mL/包、1mL/包ともに、一般名処方の際に【般】リスペリドン経口液0.1%に変換されるため、包装単位が処方箋上で区別できなくなります
「包」単位では服用量が判断できないため、「mL」単位に変更しています
※包装を指定する必要がありましたら、コメントでご入力ください

薬剤を入力すると、以下の
1回量がデフォルトで入力されます
0.5mL/包 → 1回0.5mL
1mL/包 → 1回1mL

<<下記の内容を設定・確認後、オーダーしてください。>>

処方区分は、外来院外処方です。

通常

処方期間:2024-10-15~2024-10-15

RP	選定 基準	後発品 不可	一般名 処方	含量規格 変更不可	剤形 変更不可	薬品名	1回量	1日量
【腎】リスパダール内用液【0.5mg/0.5mL/包】「効効」	0.5	1 ml				【般】【腎】リスペリドン経口液0.1%	0.5ml	1ml
1日2回(朝、夕)食後	10-15から1日分					1日2回(朝、夕)食後	1日分	
【腎】リスパダール内用液【1mg/1mL/包】「効効」	1	2 ml				【般】【腎】リスペリドン経口液0.1%	1ml	2ml
1日2回(朝、夕)食後	10-15から1日分					1日2回(朝、夕)食後	1日分	